

# ドクター内田のギョギョ

クラブの活動が本格的になつてから、月一回は渡辺さん



「ホット・クラブ・オブ・ジャパン」の会報と、載っている村岡貞さんの写真・右下

## LPを求め東京へ 村岡氏と知り会おう

一枚もないのが寂しかった。駅に着き、神保町に直行して少し少々肩身の狭い気分だった。

「東京のどこでこんなLPが買えるんですか」「ほかとんど神田のリスム社で手に入るので、すよ。主人は

うつもりだった。明け方東京駅に着き、神保町に直行して少し少々肩身の狭い気分だった。もまあ薄汚いお店で驚いた。破れガラスの中をのぞき込むと、割れたSPレコードやPが買えるんらかく横まれて、薄暗い店内には人の気配もない。ふと窓ガラスを見ると「午後開店」の張り紙がある。長い長い時間つぶしのあと

舞いもどって店先をうろつことお話しして、二階の窓がいて「もつ少しあてで店あけるからアイスクリームでも食べたいで」。するするとおりて来た力ゴをのぞくとお金が入ってる。これがリスム社の村岡貞さんとの出会いだった。やっど店が開き、一階に雑然と置かれた古レコードをかき分けるようにして二階に上ると、「そっか。あなたが渡

あとで問題になったと書いたのを二記憶かしら。しばらく興味深げにプログラムを見つめていた村岡さんはいった。「大変立派な内容で感心しました。だが、ナゴヤホットクラブという命名はどなたがなさったんですか。えっ、あなたか？ それならお尋ねするが「ホットクラブ」というのはバリに本部を持つ世界的組織なのをこそ感じます。全然知らなかった？ うーんそうですか。実は東京には「ホット・クラブ・オブ・ジャパン」というのがあって会長は野川香文先生。私は書記長といった役をしてるんです。本当なら勝手にその名前使われてはまずいんだが、始められてしまったことだし——。そうだ、一応名古屋支部ということにしませんか。どっから一度こちらの例会にも顔を出して下さいよ」

一瞬顔色を失った僕だったが、どうやら名称変更などということになって、ほんと胸をなでおろしたものの、さてLPをという段になって、またもや青くなってしまう

(内田 修)